

その名は「松の葉」

それは松の葉っぱにつつまれる程度のささやかな贈り物の名称として新潟では古くから用いられてきました。

今回はその「松の葉」をふろしきでアレンジしたあなただけのオリジナル「松の葉」のご紹介です。

もちろん「松の葉」の中身をふろしきにしても

縁を結び、ひろげるふろしきは最適なアイテムです。

ぜひこの機会に、伝統ある風習と、

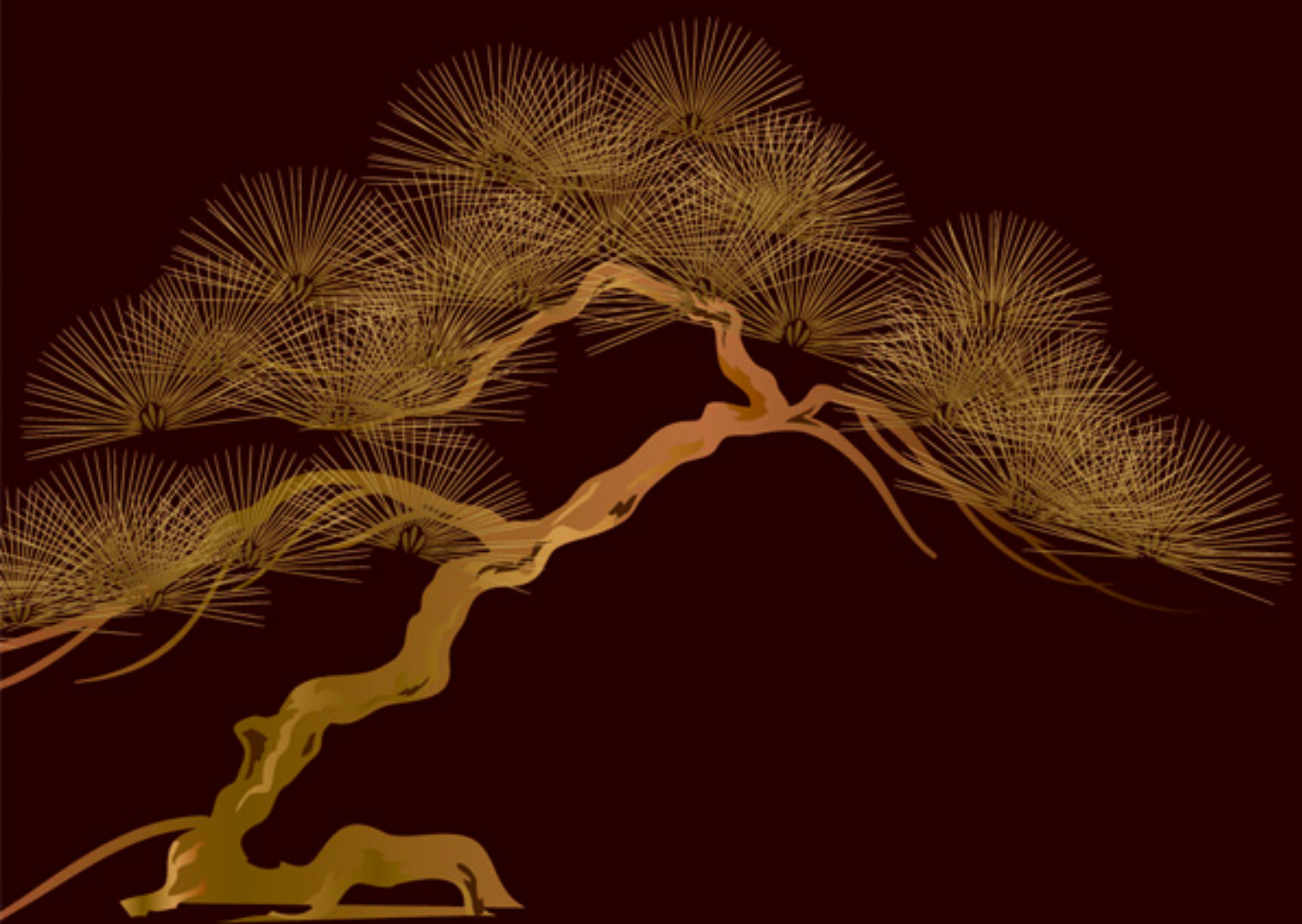
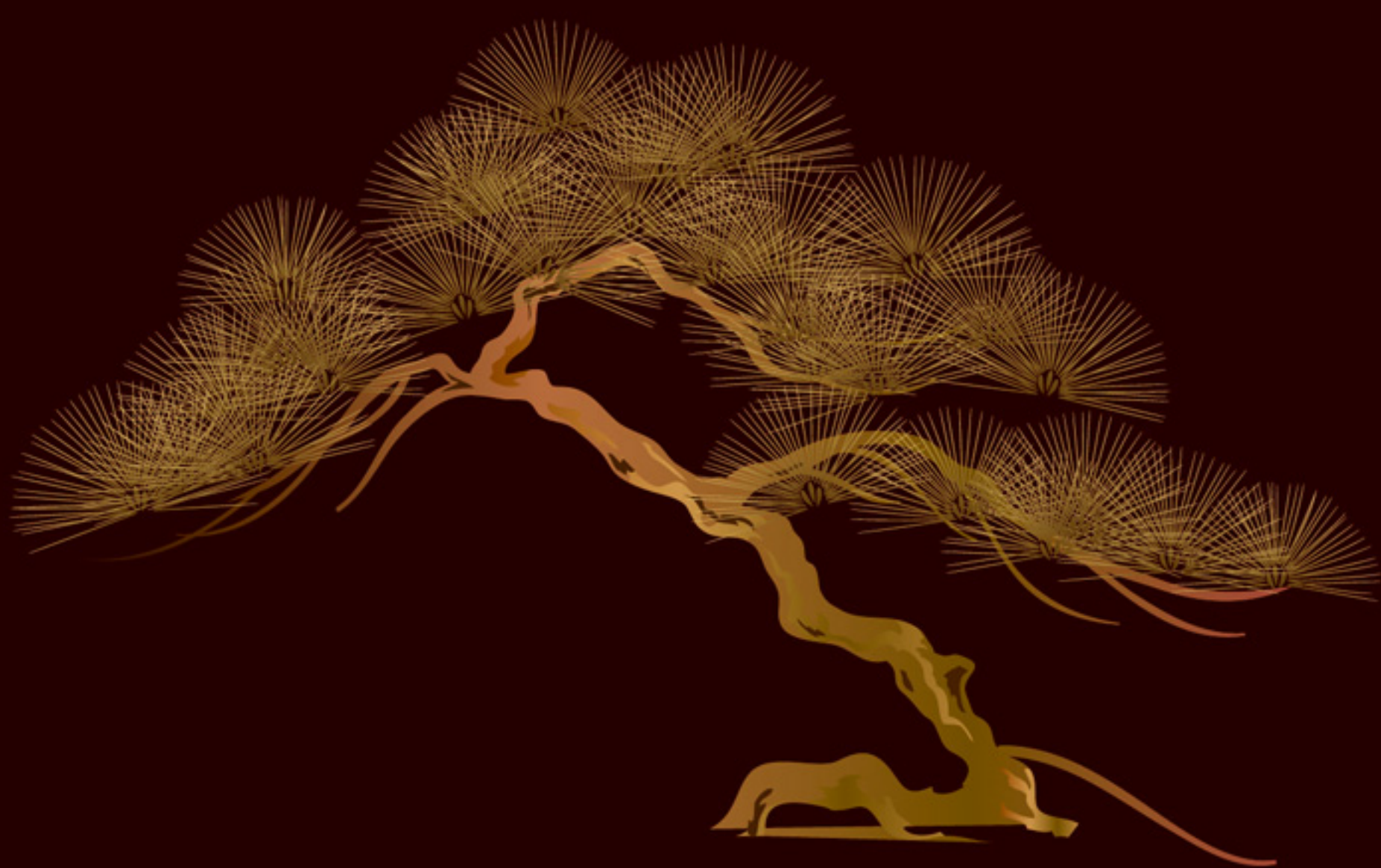
ふろしきの多彩なデザインを

お選びになってはいかがでしょうか。



ふろしきや

FUROSHIKIYA



「けっこんしき」と「ふろしき」はお似合いです。

縁を結び、幸せを広げるふろしき

古来から縁起の良い文様で珍重されてきました。

今、そのデザイン性やアレンジの多様さに

新たな注目が集まっています。

ふろしき自体をプレゼントにするのはもちろん

結んでバッグにしたり、ラッピングとしても使えます。

オリジナリティあふれ、送って喜ばれるギフトとして

結婚式での引出物や松の葉に最適です。



【梅】梅は厳しい冬を越えて春一番に咲く花忍耐力と知的美を表します。古木でも若い枝を伸ばす姿は、生命力と子孫繁栄の象徴とされます。菅原道真に愛されたことも有名です。



【唐草】四方八方に広がるつる草の柄。子孫繁栄・長寿の象徴として古くから婚礼に使われた縁起の良い柄です。世界各地で吉祥柄として親しまれています。



【荒磯】波に踊る鯉の柄。鯉は出世魚とされています。



【梅】



【寿づくし】



【松竹梅】

歳寒三友。常緑を保つ松の持久力と勢い良く伸びる竹の成長力、寒中に気品ある花を咲かせる梅の生命力。これら3つを組み合わせたものを言います。慶賀の象徴とされています。



【めでたい】

目の絵と「で」の文字と鯛の絵を合わせて「めでたい」と読む判じ絵。判じ絵は江戸時代の謎解きのこと。



風呂敷バッグ

名入れ

豊富なバリエーションの



シンプルな
楷書体



お店の
ロゴマーク



イラスト



ホームページ・フェイスブック・
ブログも充実! ぜひご覧ください。

●ホームページ

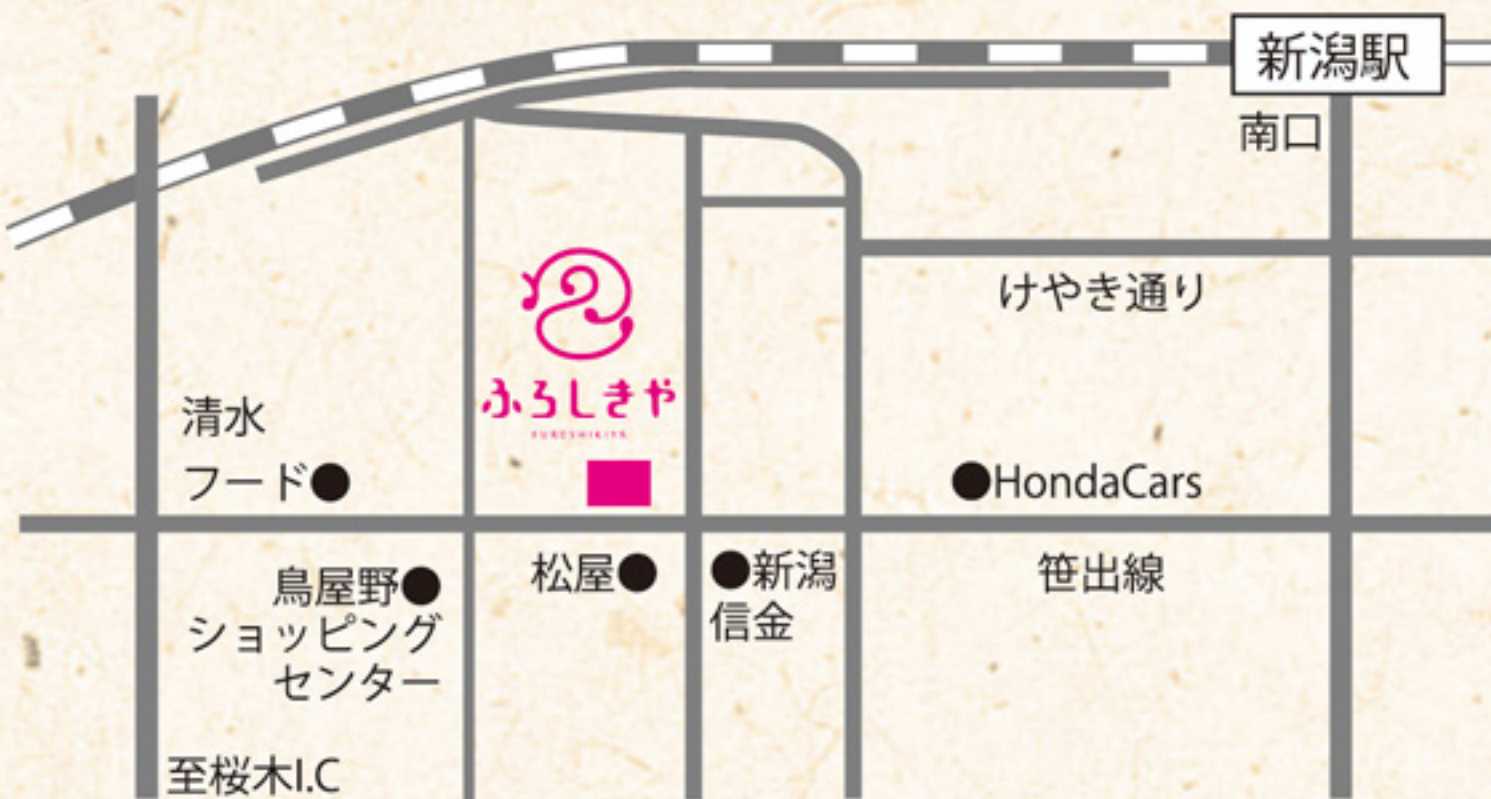
<http://furoshikiya025.com/>

facebook

<http://www.facebook.com/niigata.furoshikiya>

Ameba

<http://ameblo.jp/oshimaya/>



〒950-0916新潟市中央区米山8-10(Pあり)

営業時間/11:00~19:00 定休日/火曜日

TEL・FAX 025-248-2250 E-mail furoshikiya025@gmail.com



ふろしきや

FUROSHIKIYA